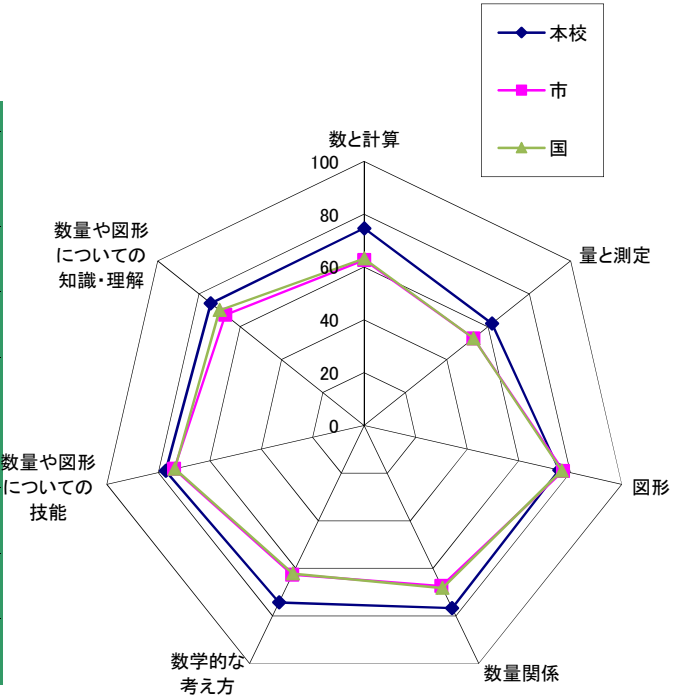


宇都宮市立東小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	74.7	62.7	63.2
	量と測定	61.9	52.9	52.9
	図形	75.7	77.3	76.7
	数量関係	76.7	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	74.3	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	77.1	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	74.3	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、国、市の平均を上回った。 ○「 $350-97$ の引く数97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く」問題では、国の平均を12.6ポイント上回る94.4%の正答率であった。 ●「2010年の水の使用量は1980年の水の使用量の何倍か読み取る」問題では、国の平均を下回り、75%の正答率であった。	整数、分数、小数の計算について、ドリルやプリントなどを活用し継続的に指導し、定着を図る。また、問題文を正確に読み取り、既習の学習を思い出し、見通しをもって解決できるよう丁寧に指導していく。さらに、生活経験と学習とを結びつける指導を工夫し、身近な算数場面で算数を活用する力も身に付けていく。
量と測定	平均正答率は、国、市の平均を上回った。 ○「残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジにつくことができるかを判断する」問題では、国の平均を12.4ポイント上回る75%の正答率であった。 ●「示された形の面積をどのように求めているかを、数や演算の表す内容に着目して書く」問題では、国の平均を上回ってはいるものの47.2%の正答率であった。	面積の公式についての定着を図ることができるよう、プリントを活用し継続的に指導していく。また、複合図形の面積を求める学習では、学習した面積の求め方以外にもさまざまな工夫をし公式を活用することで、たくさんの方があることを理解できるよう指導していく。
図形	平均正答率は、国、市の平均を下回った。 ○「長方形を直線で切ってきた図形の中から台形を選ぶ」問題では、国の平均を1.3ポイント上回る94.4%の正答率であった。 ●「二つの合同な図形を操作し、合わせてできる図形を選択する」問題では、国の平均を4.7ポイント下回る55.6%の正答率であった。	図形の定義や性質を正しく身につけることができるよう、プリントなどを活用し復習していく。さらに、具体物を使って図形を操作したり立体を作ったりしながら、算数的活動を通じた指導を継続して行っていく。
数量関係	平均正答率は、国、市の平均を上回った。 ○「棒グラフから分かることを選択する」問題では、国の平均を上回る97.2%の正答率であった。また「およそ何分後に乗り物券を買う順番が来るかを知るために調べる必要のある事柄を選択する」問題でも国の平均を上回る94.4%の正答率であった。 ●「 $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式なのかを選択する」問題では、55.6%の正答率であった。	資料を読み取ったり、伴って変わる2つの数量の関係を見出したりできるよう引き続き指導していく。式から必要な情報を整理し問題場面を考えさせるような問題に取り組ませ、筋道を立てながら自分の考えをまとめられるよう指導していく。